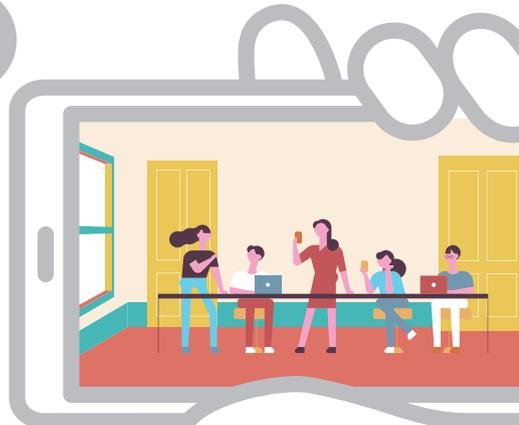
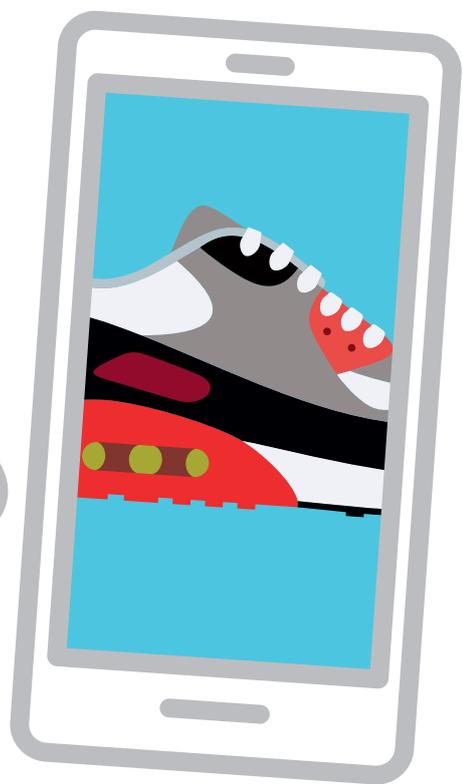
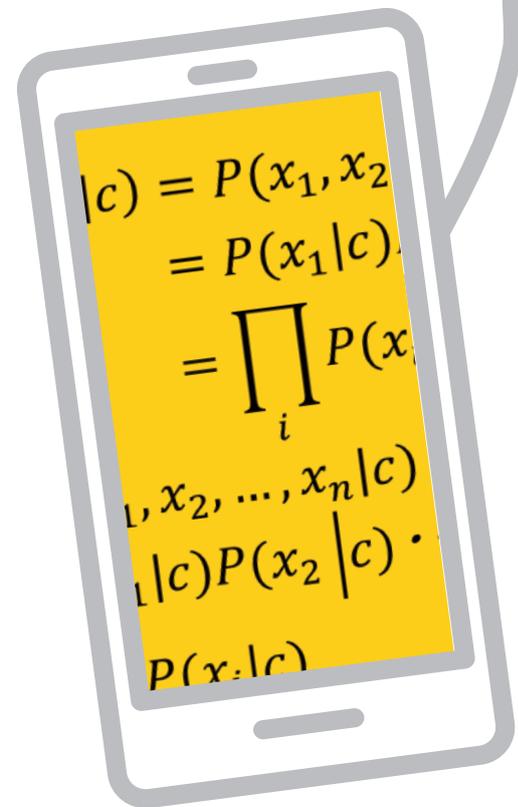


立命館大学 経済学部

College of Economics
Ritsumeikan University

2020



WHY ECONOMICS?



日々の暮らしの中の常識や不思議、 なぜそうなっているのでしょうか？

WHY ECONOMICS?

所得格差

の拡大が今世界で問題になっています。所得格差をみる指標はいくつかありますが、例えば

所得階層別の国民所得のシェア（税引前）でみると、2014年のアメリカでは上位10%の所得階層が国民所得の47.0%を占めています。しかも1980年には34.2%だったことを考えると34年間で13ポイント近くも上昇したことになります。反対に下位50%の所得階層のシェアは同期間に19.9%から12.6%に低下しています。こうした所得格差の拡大はアメリカほどではありませんが、日本をはじめ他の先進国でも共通してみられます。一方で、所得税の最高限界税率は段階的に引き下げられてきました。アメリカでは1980年の最高限界税率は70%でしたが、現在は37%になっています。日本でも1980年の75%から現在の45%へと変わっています。

所得格差が広がってきているならば、より多くの所得を稼ぐ人にはより多くの税負担を求めてもよさそうですが、なぜ実際には高額所得者の税負担は軽減される傾向にあるのでしょうか？



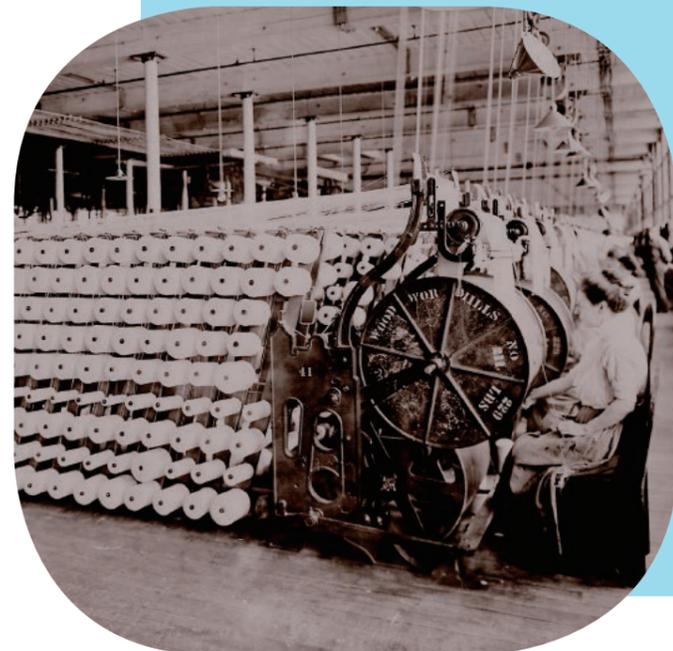
食い逃げ

したことのある人？ …って、そんな人はいないですよ。でも、どうして？ カウンターの中、店主一人きりのラーメン屋さんなら、追いかけてくる店主を振り切って簡単に逃げられそうです。それなのにあなたは、食べ終わった後ちゃんと代金を払うんですよね。食い逃げすればタダなのに、わざわざ損することをしています。変じゃないですか？

ラーメン屋さんだけって変です。見ず知らずの他人の、食い逃げするかもしれないあなたにラーメンを出すんですから。ラーメン屋さんは商売です。お金のためにやってるのに、お金をもらう前にラーメンを出すなんて、わざわざ損するかもしれないことをしています。変じゃないですか？

これはもちろん、あなたとラーメン屋さんだけの話ではありません。どんな売買にも言えることです。お店が商品を渡してくれたら、お客はお金を払わないほうが得です。お客がお金を払ってくれないなら、お店は商品を渡したくありません。こう考えると、ふだんの売買で、お客はちゃんとお金を払い、お店はちゃんと商品を渡すことができているのが不思議に思えてきます。私たちはいったいどうやって売買を成立させているのでしょうか？

これはもちろん、あなたとラーメン屋さんだけの話ではありません。どんな売買にも言えることです。お店が商品を渡してくれたら、お客はお金を払わないほうが得です。お客がお金を払ってくれないなら、お店は商品を渡したくありません。こう考えると、ふだんの売買で、お客はちゃんとお金を払い、お店はちゃんと商品を渡すことができているのが不思議に思えてきます。私たちはいったいどうやって売買を成立させているのでしょうか？



1800年頃

の世界を見渡してみましょう。中国の人口は約2億7千万人であり、中国の山東省だけでも約2300万人の人口を、日本では約3100万人の人口を有していたのに対し、英国の人口は僅か600万人でした。中国、日本、英国とも貨幣経済が発達しており、交易は盛んでした。例えば、山東省から「輸出入」される穀物の量は、当時のヨーロッパの遠隔地交易に匹敵しました。中国においても英国と類似の紡績機械が使われており、技術力において中国や日本が英国に決して劣っているわけではありませんでした。識字率についても同様で、中国や日本は英国にひけをとっていませんでした。

しかしながら、産業革命は18世紀後半から19世紀前半に英国で起こりました。起こりうる諸条件は中国や日本にもそろっていたにもかかわらず、なぜ、この頃産業革命は中国や日本では起こらなかったのでしょうか？



答えは、 経済学の中にある。

経済学部で身につく4つの力を使えば、このような謎を論理的に解き明かすことができます。「なぜ」の答え合わせは、Webページをご覧ください。

www.ritsumeai.ac.jp/ec/why/



経済学部
で身につく

4つの力

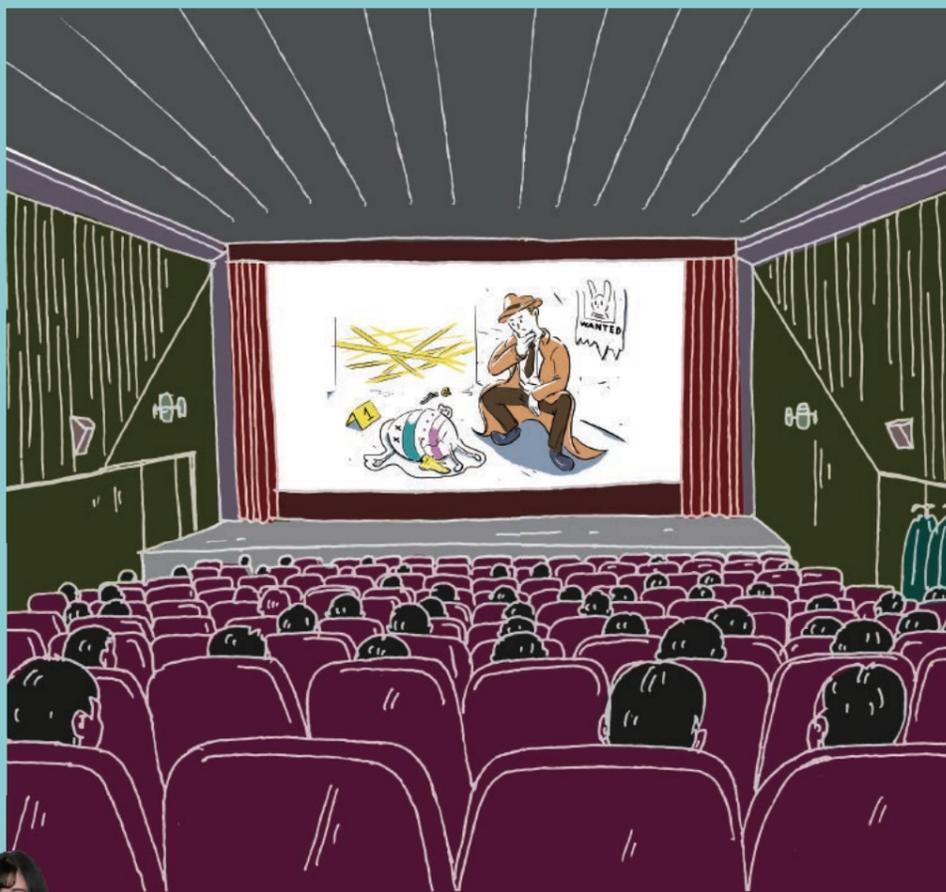
分析力

俯瞰力

洞察力

論理・表現力

社会経済の「謎」を解くゼミで 問題を発見、解決する力を養う



洞察力

分析力



「社会経済の謎を解く」というテーマに惹かれ、現在のゼミを選びました。ゼミがスタートした2回生では、広告や小説、映画や絵画などから作者の意図や隠された意味を読み取る方法を学習。3回生では、「マルクスが21世紀にいたら、どのような『資本論』を書くか」を考え、自分たちで執筆したり、日雇い労働者の町として知られる釜ヶ崎でフィールドワークを実施するなど、実践を通して現代の社会経済の疑問や問題を発見し、それを解明するにはどうしたらいいかを考えました。

ゼミでは毎週のようにグループ発表があります。さまざまなことに疑問を持ち、その答えを探するのは難しいけれど、仲間と議論しながら答えを導き出せた時は大きな達成感を得ることができます。



ゼミを通じて、社会の多様な問題を捉える「目」を養うとともに、その意味を読み取る力や洞察力が鍛えられました。また自分自身の視点で「謎」を見つけ、自らの力で答えを導き出すことの大切さも学びました。将来は公務員になるのが目標です。ゼミで学んだことを生かし、社会の多様な問題に目を向け、それを解決するための仕組みづくりに貢献したいと思っています。

山西 雛歌 さん

経済学部3回生（香川県・誠陵高等学校出身）

企業の競争力を高める 「デザイン」の重要性を実証 学びを将来に活かしたい



論理・
表現力

分析力

俯瞰力

目標を立て、それに向かってプロセスを論理的に組み立て、整合性のある結論を導き出す力が、研究活動を通して自然に身につきました。一番の収穫は、課題の解決に取り組む中で自分自身に自信ができたこと。就職活動でもそうした成長をアピールすることができました。将来は「空間デザイン」の仕事に携わるのが夢。そのために資格取得にも取り組んでいます。



お菓子から家電製品まで、あらゆる商品を選ぶ時、私は味や機能だけでなくデザイン性も重視します。商品を世に送り出す企業はデザインについてどのように考えているのだろうか？ そんな疑問を抱いて調べたところ、欧米の企業に比べ、日本の企業には商品デザインに重きを置く考え方が浸透していないことがわかってきました。そこでゼミでは、経営資源としてデザインを活用する「デザイン経営」を研究テーマに選択。企業が「デザイン経営」を取り入れることで生まれる効果を可視化することに取り組みました。

どうしたら仮説を実証できるか、まずは検証方法を考えることからスタート。「デザイン経営企業」を独自に設定した条件で抽出し、それら企業の株価と東証株価指数（TOPIX）の変化率を比較するなどの手法で、デザイン経営の有効性を明らかにしました。その結果、「新たな視点できちんと分析できている」と教授の評価を受けることができました。

新村 有紀 さん

経済学部4回生（大阪府立高槻北高等学校出身）



有名ブランドのスニーカーはなぜ高額でも売れるのか？ 仲間と共に検証する



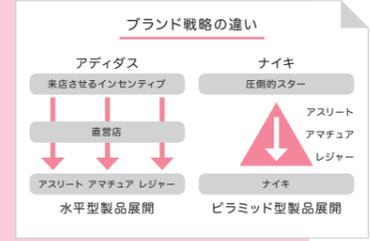
- 俯瞰力
- 分析力
- 論理・表現力

有名ブランドのスニーカーが定価の何倍もの高額で転売されるのはなぜなのか？ そんな疑問からゼミの仲間とグループを組み、「アディダスとナイキのブランド戦略の違いによる販売戦略の違いについて」というテーマで研究し、ゼミナール大会で発表。優秀賞を獲得しました。

ゼミでは、ミクロ経済学の応用分野の一つ「産業組織論」について学んでいます。その中で知った「ゲーム理論」を使って二つのブランドを検証し、両社の広告戦略の違いが流通戦略にも影響していることを論理的に実証しました。

大変だったのは、仲間と協力して研究すること。最初はそれぞれの関心や持っている情報量が異なり、なかなか議論が進みませんでした。目標を定め、それぞれの強みを活かして役割を分担するとともに、率直に意見を言い合う中で次第に一つにまとまり、互いに高め合う関係を築くことができました。

百瀬 阿美里 さん
経済学部4回生（長野県・松本秀峰中等教育学校出身）



仲間 と研究する中で学んだのは、高い目標を達成する上で団結力やチーム力の大切さです。また自分とは異なる意見を聞くことで、客観的な視点で物事を捉える力やそれを相手に伝える力もついたり実感しています。データを収集し、それを読み解く力や分析力は、就職活動でも役立ちました。



機械学習を金融分析に応用 大学院で研究を深めたい

$\log xy = \log x + \log y$
 $\log P(x_1, x_2, \dots, x_n | c) = \log P(x_1 | c) + \log P(x_2 | c) + \dots + \log P(x_n | c) + \log P(c)$

このような計算を行うのは多数の確率の積を求める際、計算結果が非常に0に近い値になり、浮動小数点演算における有効桁数の問題を回避する意図がある。（補）

教師データのサンプル (表1)

a. 景気上昇	b. 景気停滞	c. 横ばい
<ul style="list-style-type: none"> 8月にオープンしたイベント施設が、今後についても期待できる。 現在、全体的に景気が向上しているというところもあり、良くなるのではないかと予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> しばらくは消費の減少傾向が続くとみている。 しばらくは消費の減少傾向が続くとみている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状では小売業の業績が大きな変化はないとみている。 ここ最近、景気の動きが良くない。しばらくは景気は横ばいで推移する。

景気動向指数 CI と景気センチメント指数 (図1)

3分頻教師データとCI(先行指数)

図5-1) ソースデータの景気動向指数と内閣府が算出した景気判断DI

センチメント指数と景気判断DI(現状)

5-4 算出結果

機械学習によって得られた指数と日経平均株価や景気動向指数 DI、失業率など様々な経済指標との相関関係を検証した結果、内閣府から公表されている景気動向指数の CI 先行指数と高い相関を示す傾向があった。

(表5-2) それぞれの教師データから算出された指数と景気動向指数 CI との相関係数

相関係数	先行指数	景気動向指数	先行指数
3分頻	0.6052184	0.0660693	-0.250906
4分頻教師データ1	0.6487235	0.2744459	-0.02915
4分頻教師データ2	0.6792015	0.2846574	-0.040235

(表5-3) 内閣府算出の景気判断DI指数と景気判断のみから算出された指数

相関係数	先行指数	景気動向指数	先行指数
DI (内閣府)	0.7729493	0.186501	-0.208216
DI (ソースデータ)	0.7506475	0.1802981	-0.198917

以上の2つの表からどの指数を用いても先行指数と高い相関を示す傾向があることがわかる。(図1.2.3) 機械学習による分類結果から算出された指数で最も高い相関を得たのは4分頻教師データであり、これは雇用関連のコメントに関してカテゴリごとに分類した教師データを用いたほうが結果として上手く分類される事を示唆している。また、4分頻教師データ2の分類精度はカテゴリ別、「△・×」をカテゴリとした。

- 洞察力
- 分析力
- 論理・表現力

「機械学習を利用した景気予測」をテーマにゼミで研究しています。内閣府から毎月発表される「景気ウォッチャー調査」の膨大なデータを、機械学習を用いた自然言語処理の手法であるテキストマイニングを使って数値化し、失業率や景気動向指数など景気に関わる指標と比較検討。その結果をもとに内閣府による景気判断指数の算出方法の問題点について考察しました。

ゼミでは、時系列解析など経済学で使われるさまざまなデータ分析の手法について学習。その中で、機械学習を経済学に応用することに関心を持ちました。新しい研究領域のため、最初は研究をどう進めたいのか悩みましたが、ゼミでの進捗報告会で自分とは異なる視点で指摘やアドバイスをもらうことで、視野が広がるとともに、研究意欲も高まりました。

儀間 貴文 さん
経済学部4回生（沖縄県立球陽高等学校出身）

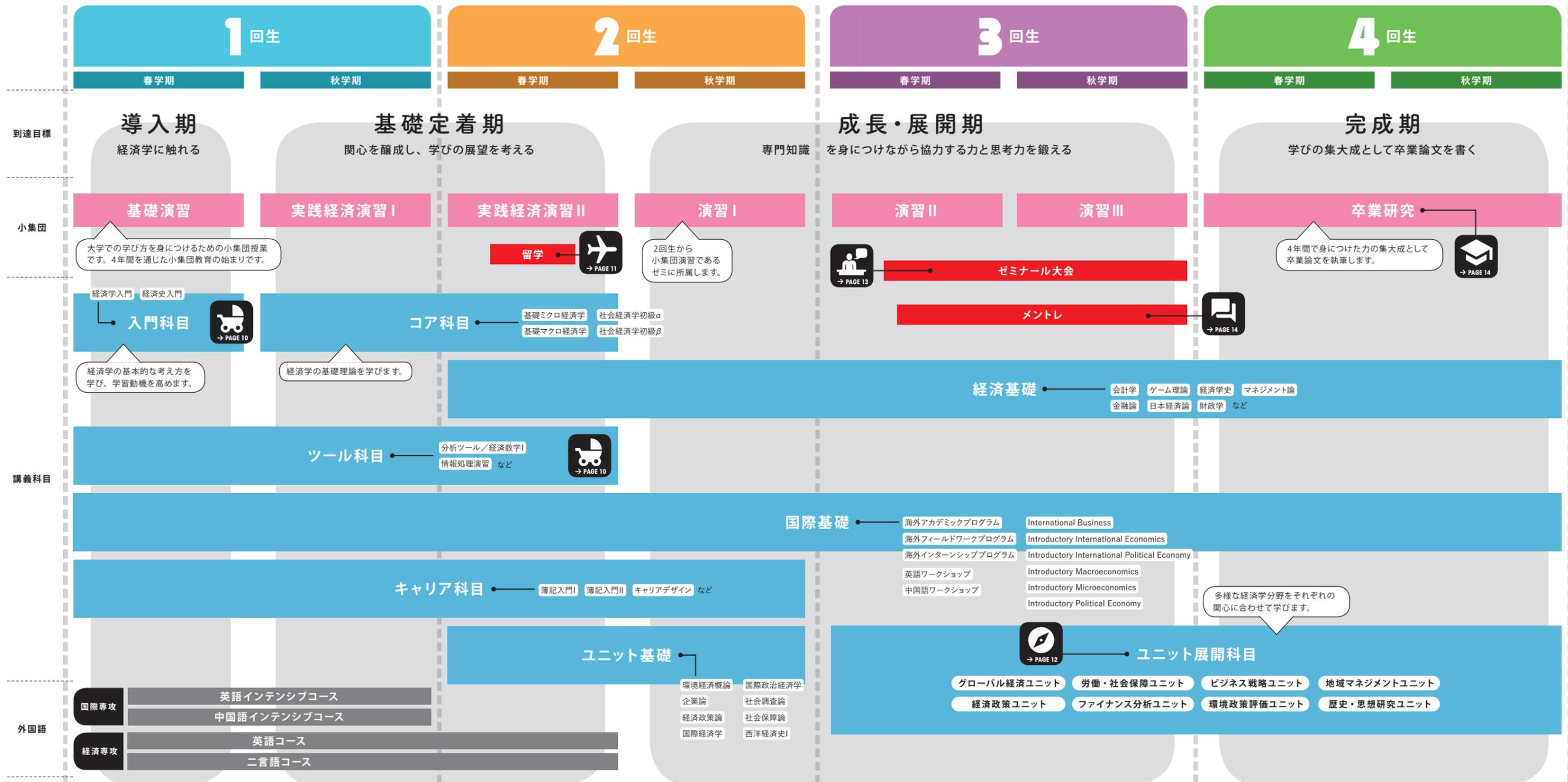


研究 を通じて実感したのは、主体的に行動する大切さです。ゼミの時間外にも指導教授を訪ねてわからないところを質問したり、他のゼミの学生に話を聞くなど、主体的に情報を集めることで、知識の幅はもちろん、人脈も広げることができました。卒業後は大学院に進学し、機械学習を利用した金融市場の予測モデルを構築する研究に挑戦したいと思っています。



経済学部 の 4 年間

「多様性理解力」と「経済センス」を磨き、
国際社会で活躍できる力を培う。



国際専攻 Major in Global Studies

外国語 + 経済学教育 + 海外経験 で、世界で通用する国際人を育成する。

国際化した経済・社会に対する洞察力・分析力を養うべく、独自の外国語プログラムを展開し、海外留学や海外フィールドワークの機会を提供します。外国語教育では、特に英語と中国語のインテンシブコースを設置し、入学直後から現地で「使える」外国語を集中的に学ぶことができます。

経済専攻 Major in Economic Studies

理論 + 現実 + 実践 で、現代社会の諸問題を解決する人材を育成する。

社会生活の基盤となっている経済活動のメカニズムや市場の法則を解き明かし、より豊かな社会を創造していくために必要な考え方や手法の基礎を学びます。経済学を中心に法律や経営など他の社会科学や教養までを段階的かつ総合的に学ぶことができます。

体系的な国際教育 G-ALPs Global and Active Learning Programs

G-ALPsはグローバルな視野を持って自らの目標(=峰)に挑戦する学生を支援する経済学部の国際教育プログラムです。正課授業では、外国語科目はもちろんのこと、経済学の専門科目についても英語や中国語で学べるカリキュラムを用意しています。さらに、経済学部独自の海外留学プログラムについても充実化をはかっています。また、正課外の取り組みとしては英語ディベートや国際的なキャリアを意識した講演会等を予定しており、正課内外において学生を支援します。

1

回生の学び

大学生活の基礎を作る

大学生活にスムーズに移行できるよう、経済学部での学び方や経済学の基本的な考え方、外国語を集中的に学びます。小集団での授業を通し、大学生として主体的に学ぶ姿勢を身につけます。

基礎演習

経済学部では、一日でも早く大学での学習に慣れてもらうために、基礎演習という少人数クラスを用意しています。このクラスでは、レポートや論文作成に必要なスキル、たとえば、図書館の使い方やアカデミックライティングを、共通教科書を用いつつ学ぶ機会が提供されています。加えて、各クラスには、オリター*と呼ばれる上回生が配置されて、大学生活全般をサポートしてくれます。



外国語教育

国際専攻では英語もしくは中国語を選択し、インテンシブコースとして集中的に学び、留学を目指します。経済専攻では、英語コースもしくは二言語コースを選択し、外国語運用能力を高めます。ICTを利用した授業や留学対策科目、将来のキャリアに向けた科目を取り入れ、実践的な外国語学習を行います。



経済学入門

1回生になってまず受講するのが、経済学の基本的な考え方を学ぶ「経済学入門」です。この講義は、経済学の基本的な考え方を学ぶことを通じて、経済学の学問的發展に尽くした先人たちの偉業を知るとともに、現実の経済活動に興味を持てるようになることを目指すものです。



情報処理演習

情報処理演習は大学での学習を円滑に行うために必要となる情報処理関係の基礎知識を体系的に学び、経済統計分析の基礎知識を身につけるための授業です。実際にパソコンを操作する実習形式の授業で、パソコンの基本的な使い方やデータ処理技術を習得します。



オリター制度とは？

立命館大学は、学生相互の支援「ピア・サポート」が盛んな大学です。中でも、オリター制度は、学習や学生生活の面から、先輩である上回生が新入生に支援を行う制度です。全国、そして世界から学生が集まる大学だからこそ、互いに切磋琢磨しあうことのできる立命館大学の伝統として根付いています。新入生の仲間作りのサポートを始め、学習や学生生活全般に関する相談に乗ってくれるので、スムーズに大学生活をスタートすることができます。



2

回生の学び

海外に飛び出そう

1回生で身につけた語学力を活かし、海外に飛び出し、経験を積んでもらう時期です。経済学部では多様性を理解する力や国際感覚を身につけるための機会を多く用意しています。

経済学部生のための独自留学プログラム

海外アカデミックプログラム

海外の大学などで外国語を集中的に学ぶとともに、現地経済事情について、外国語で学ぶことができます。プログラムへの参加を通じて国際分野で通用するコミュニケーション能力や専門性を身につけます。

派遣先国	派遣先機関
オーストラリア	ホーン・メルボルン英語学校
ニュージーランド	マッセイ大学
アメリカ	ポートランド州立大学
中国	大連外国語大学
中国	東北財経大学

*派遣先はすべて2019年度の予定です。

海外フィールドワークプログラム

経済学部で学んだ知識を活用し、海外で調査・研究・発表に取り組みます。現地の人々と触れ合いながら、プログラムごとに設定されるテーマ（地域格差は正やツーリズム、環境と開発など）に関するフィールドワークに取り組みます。

派遣先国	派遣先機関
タイ	タイ国立開発行政研究院 他
英国	JETRO (日本貿易振興機構)、在英日本国大使館 他
中国	上海対外経貿大学 他

海外インターンシッププログラム

日本企業・団体の海外オフィスや現地企業で実施するインターンシップです。多様な背景を持つ社員との就業体験や交流、世界の最前線のビジネス経験により、海外で働くことについて体験的に考えることができます。

派遣先国	派遣先機関
アラブ首長国連邦	日系・現地石油開発会社
ニュージーランド	現地企業



国際教育センター実施海外留学プログラム派遣先大学・機関 (大学名は一例)

Europe

- アイスランド
アイスランド大学
- アイルランド
ダブリンシティ大学
- イギリス
ウォリック大学
ノッティンガム大学
ヨーク大学
- イタリア
ナポリ東洋大学
- オランダ
ライデン大学
- スウェーデン
セーデルテルン大学
ルンド大学
- スペイン
アルカラ大学
グラナダ大学
- チェコ共和国
マサリク大学
- デンマーク
コペンハーゲンビジネススクール
- ドイツ
ベルリンフンボルト大学
チュービンゲン大学
フライブルク大学
- ノルウェー
ベルゲン大学
- フィンランド
ヘルシンキ大学
- フランス
エセムビジネススクール
トゥールーズ大学ジャン・ジョレス校
ポルドー政治学院
- ポーランド
ヤゲウォ大学
- ルーマニア
ルーマニア・アメリカ大学
- ハンガリー
ブダペスト商科大学
- スイス
ルツェルン応用科学大学

Asia

- 中国
南開大学
吉林大学
東北財経大学
- 中国・香港
香港中文大学
- 韓国
延世大学
高麗大学
慶熙大学
- 台湾
国立台湾師範大学
東海大学
国立中山大学
- マレーシア
マレーシア科学大学
- シンガポール
シンガポール国立大学
- インドネシア
インドネシア大学
- フィリピン
フィリピン大学ディリマン校
- タイ
タマサート大学
- ベトナム
ホーチミン市人文社会科学大学
- カンボジア
バンニャサ大学

America

- アメリカ
ピッツバーグ大学
オクラホマ大学
アメリカン大学
- カナダ
ブリティッシュコロンビア大学 (UBC)
オカナガンカレッジ
サイモンフレーザー大学
- メキシコ
モンテレイ工科大学
- アルゼンチン
ラ・プラタ国立大学

Oceania

- オーストラリア
オーストラリア国立大学
メルボルン大学
マコーリー大学
- ニュージーランド
ビクトリア大学ウェリントン

68 国・地域
455 大学・機関
と協定を結んでいます。^{*1}
また、世界34国・地域、158大学・機関から留学先を選択できます。^{*2}
*1-2018年10月現在
*2-2019年2月末現在

VOICE

現地の方へのインタビューで自らコミュニケーションをとることの大切さを学んだ



玉木 里英 さん
経済学部3回生
福井県立勝山高等学校

経済学部の留学プログラムで、アメリカのポートランド州立大学に留学しました。夏休みを有意義に利用し、英語のアウトプットの機会を作れたこと、異文化の中で生活することとはどのようなものなのか、自分自身で経験してみたら良かったです。

特に印象に残っているのは、異文化を理解する授業で、現地の方に文化の違いについてのインタビューをしたことです。聞きたいことを引き出せた時はとても嬉しく、羞恥心や恐怖心を乗り越えて自分からコミュニケーションをとることの大切さを実感しました。

平日はホストファミリーと多くの時間を過ごしました。一緒に料理をしたり、子どもとゲームや読書をしたり、歌を歌ったり、賑やかな毎日でした。休日は散歩やショッピング、キャンプなど、活発に外に出かける機会を持っていました。

留学によって英語の学習スタイルも変わりました。留学前は、英語を聞いたり読んだりして問題に答えるという方法で学習していましたが、帰国後は、自分の言いたいことを考えたり、表現したりするアウトプット型の学習方法で、英語力にさらなる磨きをかけています。

プロフェッショナルを目指す

多様な経済学分野を自らの関心に合わせて、深く学び、専門知識や論理的思考力を身につけます。ゼミ活動を通して、自ら課題を発見し、主体的に問題解決に取り組む力を磨きます。



ユニット制

科目をパッケージして関心分野を体系的に学ぶ

関連性を持つ科目をパッケージ化したユニットで学び、自らの学びをデザインします。ゼミナールでの学修・研究と連動させながら学ぶことができます。研究テーマによっては、複数のユニットにまたがる学びが望ましい場合もあります。

歴史・思想研究ユニット

現代から将来を見渡す俯瞰的な視座を身に付けるため、経済史、経済学史を学び、歴史的な事例や経済学論争の考察を通じ、現代経済の諸問題の根源を考察します。

社会思想史 東洋経済史Ⅰ
西洋経済史Ⅱ 東洋経済史Ⅱ



グローバル経済ユニット

国際間の経済関係と各国経済の多様性を理解し、グローバルな視野に立って国際的諸課題を考察し、解決提案できる力を養います。

Eurasian Economy 国際貿易論
国際開発プロジェクト・ マネジメント 多国籍企業論



経済政策ユニット

経済政策に関する理論、制度を学ぶとともに、データ分析や事例研究を通じ日本経済が抱える様々な問題の本質を洞察する力を養い、俯瞰的かつ理論的な視点から政策課題の解決策を提案できる力を養います。

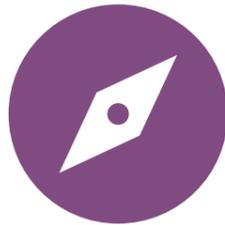
経済成長論 地域経済学
公共経済学 地方財政論



地域マネジメントユニット

市場経済では解決が難しい地域・コミュニティの課題について深く知るとともに、国土形成計画から地域振興まで、総合的視点に立った課題の解決方法を学びます。

観光経済論 都市・地域マネジメント
地域経済学 農業経済論



労働・社会保障ユニット

人口減少と少子化・高齢化が日本社会にもたらす影響を踏まえながら、労働政策や医療政策、介護政策、年金政策などの社会政策に関わる諸課題を分析し、その解決手法について考察します。

医療経済論 地域福祉論
企業と雇用システム 労働経済論



環境政策評価ユニット

環境・公害問題の科学的な理解に加え、環境の経済社会的価値や環境政策の効果を評価するための分析手法の修得など、政府の環境・資源政策や企業の環境マネジメントに活用できる文理総合的な学びを行います。

環境経済学 環境法
環境経済評価論 食糧経済論



ファイナンス分析ユニット

資金の調達・運用・投資戦略などの理論を理解するとともに、金融市場の制度や政策に関する知識、企業財務や金融市場を分析する技術など、金融に関わる業務に必要な知識と技術を学びます。

金融市場分析実習 コーポレートファイナンス
行動経済学 リスク管理論



ビジネス戦略ユニット

経済学的視点から企業の意思決定理論を学ぶとともに、マネジメント、会計、法律などの多様な観点から経営戦略、企業組織をめぐる諸課題を分析します。

企業税務論 産業組織論
財務諸表論 組織と制度の経済学



ゼミナール大会

理論を身につけ、実践を通して研究成果を発表する

学生同士の知識の深め合いや研究意識の向上、また学部全体での研究力の向上を目標に、毎年12月に開催される学術イベントです。毎年200～300チーム、約1,000名の学生が参加します。日ごろの調査・研究の成果を論文としてまとめ、その内容についてプレゼンテーションと合わせてコンテスト形式で評価されます。それぞれの発表の後に

は質疑応答の時間も設けられ、会場は熱気あふれた雰囲気になります。自らが設定したテーマについて徹底的に研究し、多くの人の前で成果を報告することにより、社会で役立つ問題発見・分析・解決の能力、プレゼンテーション能力を養います。



STEP 1: 分科会 (予選)

200～300チームが参加し調査・研究成果を競います



STEP 2: 優秀者発表会

選ばれた約10チームがプレゼンテーションを披露します



表彰式

調査・研究力、プレゼンテーション力に秀でた発表が選ばれます

ゼミナール大会テーマ

リニエーション制度の経済実験分析
～減免制度と褒賞制度どちらが有効か～

大手カメラメーカーはミラーレスカメラ市場に参入すべきか
～参入時期の違いにみるキヤノンとニコンの戦略分析～

高度経済成長期における新産業都市の展開
～大分県大分市を事例に～

電力システム改革と再生可能エネルギー普及は両立するか
～ダイナミックプライシングと電力卸取引市場の活用に着目して～

スウェーデンの家計消費について
乳業市場と製菓市場の関連性の分析

若年層の結婚に影響する要因は何か?

What Causes the Difference by Region of Capital Investment in Japanese Automotive Industry?

教科書の経済学
～割引率に着目した大学生協と学生の行動分析～

親子の交流は子どもの成績に影響するのか

VOICE

ゼミナール大会を経験し問題解決に必要な洞察力を身につけることができた



森山 直輝 さん
経済学部 3 回生
岡山県・岡山操山高等学校出身

以前から受動喫煙問題に関心があった私は、経済学の理論を用いた禁煙対策の検証を行いました。経済学者、ソースティン・ヴェブレン氏の理論に基づき、学内でのアンケート調査を行って、喫煙者が喫煙行動に向かう要因を分析し、対策を検証する試みです。

チームメイトと分担してあらゆる書籍や論文に目を通し、意見を集約させて仮説を設定するのは骨の折れる作業でした。アンケート作成時は、質問に主観的な視点が入っていないか、難しい表現はないかなどに注意しました。検証の際も、求める結果を得るにはどのようなデータ集計や提示が必要かを意識するなど、苦労したかいあって、適切な分析・検証ができたと思

っています。ゼミナール大会への進捗状況が思わしくない時はくじけそうになることもありましたが、チームメイトや先生のおかげで優秀賞をいただくことができました。この経験によって、問題解決に必要な洞察力を身につけることもできました。

将来は、観光の面から日本の地域を盛り上げられる人材になりたいと考えています。今年のゼミでの活動目標は「地方創生を実験から学ぶこと」。そのため主体的にフィールドワークに取り組んでいます。ゼミを通して、今後どのように地域に貢献できるのか、今の私に足りないものは何かを学び、さらに成長していきたいです。

4

回生の学び

培った力で未来へ羽ばたく

4年間の学びの集大成として、卒業論文を執筆し、社会に羽ばたく準備を行います。経済学部ではキャリア教育に注力しており、学生がそれぞれの希望の進路を切り拓くための支援を行っています。



卒業研究

4年間で身につけた力の集大成

卒業研究では、みなさんの興味関心に沿ったテーマを選定し、卒業論文を作成していきます。洞察力を用いて、より良い問いを立てて、テーマを選定し、俯瞰力を用いて、論文の構成を決定します。そして、分析力を用いて、論文の内容を緻密にし、論理・表現力を用いて、説得力のある文章を執筆します。このように、4つの力の集大成が卒業論文なのです。



専門キャリアプログラム

高度な専門性を求められる分野に関して、専門的キャリアの意識付けを行うために、2つのプログラムを設置しています。学びの集団を形成し、難関試験に挑む学生を支援します。

財務・会計プログラム

公認会計士や税理士、国税専門官、企業の財務担当職など高度な専門職を目指す人材を養成するプログラムです。簿記2級の資格取得を目指す正課科目を用意しており、会計系難関資格取得へのステップアップも可能です。また、税務・会計のスペシャリストを養成する大学院経済学研究科「税理・財務コース」への進学の道も選択肢となります。

公務・行政プログラム

行政において求められる知識と能力を高めるとともに、高い志を持って公務に携わることが出来る人材を養成するプログラムです。学内で開講される課外の公務員講座と連携しながら、国家公務員や地方公務員等の進路を目指します。学修状況に応じて、一部の講座を特別奨励生として受講することが可能です。

メントレ

経済学部就職活動応援企画

社会の第一線で活躍する卒業生と協力し、学生の就職活動を組織的に支援します。

「自己の価値を社会の中でどう活かすか」について考える経済学部独自のキャリア企画です。2日間にわたって全国から100名以上の卒業生を招き、自己分析の深堀り、エントリーシートの添削、面接の指導を行います。先輩だからこそできる熱血指導により、参加者は就職活動において抜群の成果をあげています。社会の第一線で活躍する卒業生と協力し、学生の就職活動を組織的に支援しています。



VOICE

とことん自分と向き合うことで自分の新たな一面を知り新たな視座を手に入れた



福田 悠夏 さん
経済学部4年生
群馬県・共愛学園高等学校

就職活動への漠然とした不安を抱いていたとき、何人もの先輩からすすめられてメントレに参加しました。最初に「大学生活において、3年生がもっとも成長できる年。この1年は自分の価値を高める活動に力を入れるように」と言われたことが印象に残っています。就職活動を言い訳にせず、ゼミの論文にしっかり取り組もうという意識を持つことができました。私は、就職活動において最も大切なのは「自己分析」だと思います。自分自身のことを客観的に分析するのは難しいものですが、メントレの実践的な面接練習によって、私はとことん自分自身に向き合えるようになり、自

分が気づけなかった考え、違う視点から自分を見る新たな視座も手に入れることができました。これが就職活動の決め手になったと思います。内定先はコンサルティングファームです。社会に大きな影響を与える企業の課題解決や業務の効率化をサポートすることで、世の中に新しい価値を創造したいと考えています。将来、国際機関で発展途上国の社会基盤に関わる仕事に携わりたいという希望もあるので、入社後は、素材エネルギー部門でインフラを建設する企業の行動を研究し、途上国と企業、両方から喜ばれるコンサルティングスキルの修得に専念したいと考えています。

卒業生からのメッセージ

ダイナミックなインフラ整備事業に携わり安全、快適で成熟した都市づくりを推進。



東京都庁
建設局第四建設事務所 用地第一課
谷本 宙俊 さん (経済学部 2017年卒業)

東京2020大会に向けたインフラ整備、首都直下地震や局地的豪雨の対策など課題が山積みの東京において、安全、快適で成熟した都市づくりを推進するため、現在は課の調整担当として、予算執行管理や決算調製を通じ、効果的な用地取得をサポートしています。東京の都市づくりを進める一員として地図に残る仕事に携わることの大きなやりがいを感じています。社会を捉え、問題意識から解決策を導く一連のプロセスを自身で組み立てる力は、大学時代、論文制作に注力する中で養いました。相手に分かりやすく伝えるように論理的に説明するスキルは、経済学部での学びの成果だと感じています。現在は事業の最前線で仕事をしていますが、将来は都の事業を俯瞰して捉えることもできるよう、さまざまな職務を通じ、信頼される都職員として成長していきたいです。

2013年、経済学部へ入学。産業組織論を専攻し、卒業論文は立命館大学父母教育後援会表彰制度の学部長最優秀賞を受賞した。卒業時には経済学部のオナーズ・プログラムにおいてエクセレント認定を受ける。2017年、東京都庁へ入部。建設局第四建設事務所用地第一課に所属。

研究で鍛えた仮説を立案・検証する力を礎に、顧客の課題解決に貢献したい

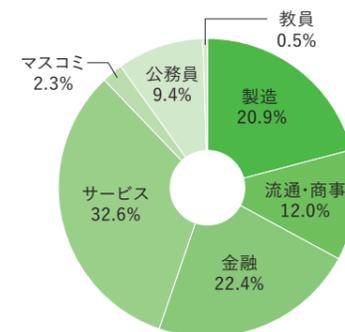


株式会社日立製作所
ITプロダクツ統括本部プラットフォームエンジニアリング本部
山田 朋美 さん (経済学部 2017年卒業)

システムエンジニアとして、MRの業務を支援する製薬会社向けの新規サービス立ち上げに従事しています。顧客へのヒアリングから課題解決手段の提案、システムの開発・納品まで、すべての工程に携わる上では、市場構造や真の課題について仮説を立て、評価・検証することが不可欠です。大学時代、企業戦略を分析する産業組織論のゼミナールで「なぜこの戦略をとるのか」を考える姿勢を培ったことが、顧客から情報をより深く聞き取るのに役立っています。またコンタクトレンズの販売戦略に関する論文を執筆する中で、仮説の立案・検証のプロセスを学んだことも今に活かしています。顧客にはない視点で課題解決の手法を提案できるよう、今後も幅広い知識や新しい技術の習得に努めていくつもりです。

2013年、経済学部へ入学。在学中は、経済学会学生会委員会の編集長としてフリーペーパーを作成。また国際寮の日本人メンターを務め、留学生の生活を支援した。文系出身者もものづくりに携わることができる点と、家電・金融・電力など多分野における技術力に惹かれ、2017年、株式会社日立製作所に入社。

就職状況



◎円グラフの数値は小数点以下第二位を四捨五入により算出。

2018年度卒業生 就職先一例 [50音順]

アサヒビール(株)	双日(株)	日本生命保険(相)
有限責任あずさ監査法人	ソフトバンク(株)	野村證券(株)
江崎グリコ(株)	中部電力(株)	パナソニック(株)
(株)エヌ・ティ・ティ・データ	東映(株)	PwCあらた有限責任監査法人
大阪ガス(株)	東海旅客鉄道(株)	(株)みずほフィナンシャルグループ
オムロン(株)	東京海上日動火災保険(株)	(株)三井住友銀行
川崎重工業(株)	東レ(株)	(株)三菱UFJ銀行
KDDI(株)	トヨタ自動車(株)	ユニ・チャーム(株)
サントリーホールディングス(株)	西日本電信電話(株)	国税専門官
(株)JTB	西日本旅客鉄道(株)	国家公務員一般職
(株)滋賀銀行	(株)日本政策金融公庫	地方公務員(上級職)
全日本空輸(株)	日本航空(株)	教員

募集方法・募集人数

専攻単位で募集します。

学科・専攻	一般入試募集人数(合計)	3教科型		センター試験併用方式	センター試験方式				後期分割
		全学統一(文系)	学部個別配点(文系型)		7科目型	5教科型	3教科型	後期型	
経済学科	国際専攻	50名	40名	—	5名	—	—	—	5名
	経済専攻	450名	220名	30名	15名	150名	—	15名	20名

AO 選抜入学試験

高等学校在学中の学習や様々な活動で培った語学力やコミュニケーション能力、問題発見力を活かし、経済学を学び、国際的な分野で積極的にチャレンジしたい人を募集します。

英語重視方式

募集人数：10名
出願期間：2019年9月16日(月・祝)～9月20日(金)
(簡易書留速達扱いの出願期間最終日消印有効)

◎第1次選考(書類審査)
合格発表日：2019年10月24日(木) 10:00

◎第2次選考(個人面接)
試験日：2019年11月3日(日)
会場：立命館大学びわこ・くさつキャンパス
合格発表日：2019年11月13日(水) 10:00

一般入学試験

高校での勉学に励み、最後まで自身の学習能力を高めてきた力を活かして経済学を学びたい人のための入学試験です。

全学統一方式(文系) [2専攻併願可]*

募集人数が最も多い、立命館大学のメインの入試です。英語、国語、選択科目の試験を実施します。

出願期間：2020年1月6日(月)～1月22日(水)
試験日：2020年2月1日(土)～2月4日(火)

学部個別配点方式

英語、国語、数学の試験を実施します。

出願期間：2020年1月6日(月)～1月26日(日)
試験日：2020年2月7日(金)

センター試験方式

本学部独自試験は実施せず、センター試験の得点のみで判定します。

センター試験併用方式 [2専攻併願可]*

本学独自試験の英語・国語とセンター試験受験科目の5教科で合格判定します。

出願期間：2020年1月6日(月)～1月26日(日)
試験日：2020年2月8日(土)、9日(日)

後期分割方式 [2専攻併願可]*

3月にチャレンジできる入試です。

出願期間：2020年2月13日(木)～2月25日(火)
試験日：2020年3月7日(土)

*1回の受験で、国際専攻と経済専攻を併願できる制度があります。

入試方式

全学統一方式[文系] 試験日 2月1日, 2月2日, 2月3日, 2月4日

出題教科	科目	出題範囲	配点	試験時間	
外国語	英語	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	120点	80分	
国語	国語	国語総合、現代文B、古典B(漢文の独立問題は出題しません)	100点	80分	
選択科目	公民	政治・経済	100点	80分	
	地理歴史	日本史			日本史B
		世界史			世界史B
		地理			地理B
数学	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	いずれか1科目選択		

合計 320点

学部個別配点方式[文系型] 試験日 2月7日

出題教科	科目	出題範囲	配点	試験時間
外国語	英語	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ	100点	80分
国語	国語	国語総合、現代文B、古典B(漢文の独立問題は出題しません)	100点	80分
数学	数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B(数列、ベクトル)	150点	80分

合計 350点

センター試験併用方式[5教科型] 試験日 2月8日, 2月9日

出題教科	科目	出題範囲	配点	試験時間
本学独自試験科目	外国語	英語	100点	80分
	国語	国語	100点	80分
センター試験受験科目	数学	「数学Ⅰ・数学A」および「数学Ⅱ・数学B」	100点	80分
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から高得点1科目		
	地理歴史	「日本史B」、「世界史B」、「地理B」		
	理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目、「物理」「化学」「生物」「地学」から高得点1科目【*注】		

高得点2科目を採用
2科目で100点(各50点)
合計 400点

*「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目は、1科目と見なします。

